



10月も中旬を迎え秋の気配が色濃くなってきました。本当に暑い夏でした。しかし、子どもたちは「た
だいま〜」「こんにちは〜」と元気に挨拶を交わしながら Co-Co テラスにやってきます。

そんな子どもたちが最近楽しみにしているのが、「みんなでゲーム」の時間です。夏休みから、プログ
ラムに入れていましたが、9月10月と時がたつにつれて子どもたちに浸透してきたようです。「先生、
今週のゲームはなあに」と尋ねる子どもが増えてきています。

発達に課題のある子どもたちは、人への興味関心が薄かったり、人間関係を築くのが苦手だったりコミ
ュニケーションが苦手な傾向にあるため、

- ・ 社会のルールを理解しにくい
- ・ コミュニケーションがとりにくい
- ・ 自分の思いにこだわり、人の気持ちが理解しにくい
- ・ 一度思い込むと、その気持ちが切り替えにくい

といった特性のある子どもたちが多くいます。そこで、ゲームを療育の一環としてプログラムに取り入
れ、楽しみながら課題克服のための学びの機会を！と考えています

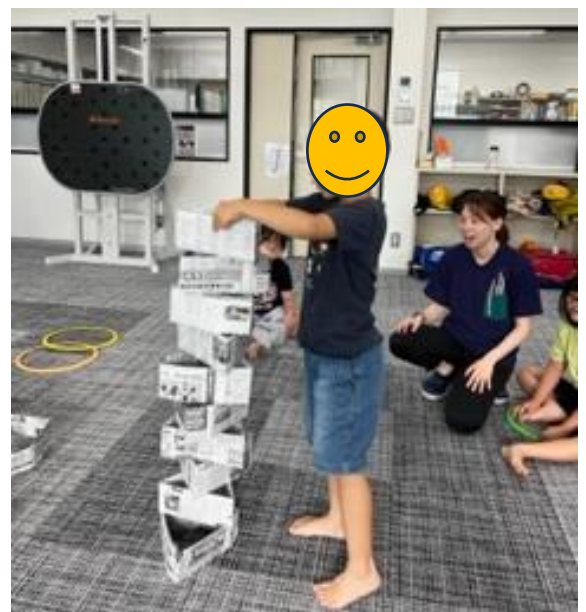
体を動かすゲーム・頭を動かすゲーム・チームで協力するゲーム等を週ごとに変えながら実施していま
す。一人ひとりのペースに合わせながら行いますので、決して無理強いすることはないのですが、他者と
関わり合いながら遊べるようになると、コミュニケーション能力も養われますし、特にルールを理解し守
ることが求められるゲームは、社会のルールやマナーを守
ることと置き換えて考えられるので有効なのです。

ゲームの前には、みんなで守る約束を確認します。

- きめた場所に座ります。
- 友達や先生が話しているときは、静かに聞きます。
- 質問や意見があるときは、手をあげます。
- ほんわか言葉を使います。

この「ほんわか言葉」が大事ですね。「ちくちく言葉」だと
お友達を傷つけてしまいます。

ゲームで負けても怒らない。悔しくて泣いてしまっても、
「次頑張るぞ！」の気持ちを大事にして、勝ったお友だち
に対して「がんばったね！」「おめでとう！」等のほんわか
言葉・ふわふわ言葉を伝えられると、とても素敵！です。そ
して、最後まで楽しくゲームに参加できるようになってほ
しいですね。ゲームの約束をゲームが始まる前に確認するのは、うまくいかなかったときや負けてしまっ
たときの心の準備をしてもらうためです。事前に伝えることで心の準備ができ、課題に取り組める姿勢を
作ることができます。



ゲーム特性から整理すると、

- (1) Co-Co テラスにやってくる子どもたちの中には体を動かすことを苦手とする子もいます。反対にとにかく体を動かしたい、動かさばなしの子もいます。どちらのタイプの子にも、手足の指先、体幹へのアプローチ、協調運動を行うことで、有効な脳への刺激が生まれ、成長を促すことになります。
- (2) トランプのような個人ゲームは、特に勝ち負けへのこだわりが強く、負けることを受け入れられない子もいますが、繰り返してゲームをすることで、勝ち負けにこだわる気持ちを抑え「負けちゃった(笑)」ぐらいに考えられる力をつけたり、ゲームの最中に他の人が「どう考えているか」を想像しながら、みんなで楽しむことができ力をつけたりすることをねらいとしています。
- (3) チーム対抗のゲームでは、自分だけが楽しむのではなく、応援（声かけや拍手等々）することで、他者の頑張りを認め、みんなで楽しむという態度を身につけていくことをねらいとしています。



ご家庭で、お子様が「ゲームしたよ」と話したとき、ゲームの内容や、お子様が頑張ったことを聞いていただき、「みんなで楽しむことはいいことやね。」「負けたけど、ちゃんと負けを認めることができて偉かったね。」等、励ましほめてあげていただければと思います。

Aさんのお母さんから頂いた嬉しいメッセージ!!

先のことが不安でいっぱいでしたが、Co-Co テラスさんに通わせてもらうようになって、どんなことも親身に寄り添ってくださり、一人で悩むこともなくなりました。発達検査の数値も上がり、言葉や理解も増えました。保育所訪問にも熱心に取り組んでくださり、息子はいきいきと楽しく自信をもってこども園に通うことができました。大切な小学校までの時間にできることが少しでも増えるようにと、しっかり向き合ってください。本当に、ご縁があってよかったです。

Aさんは、こども園在籍で週2回の療育をご利用いただいています。利用し始めたころは、何をするのも自信がなくて「なんだっけ?」「これでいい?」と不安が先にたっしまい、活動が進まないこともありました。半年間療育を続ける中で、できること、わかることがぐんぐん増えて、私たちも目を見張るものがありました。

運動会前の訪問支援の時には、疲れが出て

「運動会、もう出なくてもいいよ〜。」

と、弱気な発言もありましたが、「登園すれば参加できるから、当日は、しっかり背中を押してあげてください」と、お母さんに連絡しました。お母さんも不安に感じられていたことと思いますが、運動会に参加できるよう万全の態勢で臨んで下さり、運動会に参加することができました。

後日、お母さんから「力いっぱい参加できて、大成功の運動会でした!」と明るい声で連絡をいただいた時には、スタッフ一同「Aさん、やったあ〜」と大喜びしました。

後日、「Aさん、運動会がんばったねー!」とハイタッチの手を出すと、Aさんは、「Co-Co テラスも運動会やったらいいのに!」と、自信に満ち溢れた顔で笑顔のハイタッチでした。